

ラップサービス導入支援

藍澤証券 地域金融機関に提案

アフターフォロー重視

藍澤証券は地域金融機関などに投資一任（ラップ）サービスの導入を支援する。リスク商品の提案に不慣れな行職員でも、顧客の資産運用目的に沿った提案からアフターフォローまで一貫してサポートできるラップサービスを構築。同社は日本資産運用基盤グループ、QUICKと連携し、2022年春以降に提供を開始する予定だ。

藍澤証券が提供する資産運用の達成状況、「ゴールベースアプロ」アフターフォローなどイチ型のラップサービスの販売支援機能を提供する。例えば、定期的に応じた複数の運用にフォローアップをすコースを用意。ヒアリングを営業員に通知する。顧客の口座管理は、金融機関の口座か同社の証券口座のどちらでも対応が可能。

額が100万円以上、積み立ての場合は1万円から設定を想定。退職金の運用や若年層の資産形成など幅広い顧客ニーズに対応できるサービス設計。さらに、顧客管理や

（IFA）に対しても同ラップサービスの導入を提案していく。

同社の大石敦取締役は、投資一任運用と営業員のアフターフォロー

を支援する仕組みを組み合わせることで「お客さまが手数料を払っていることに対して納得感のあるサービスを提供したい」と強調する。